

平成 24 年度 第 2 回二宮町男女共同参画プラン推進連絡会 実施報告

1. 日 時

平成 24 年 11 月 26 日（月） 午後 2 時 00 分 ～ 午後 5 時 40 分

2. 場 所

二宮町町民センター 2 階 2 A クラブ室

3. 出席者

○二宮町男女共同参画プラン推進連絡会委員（6 名）

小林会長 西山副会長

石本委員 竹内委員 大矢委員 田中委員

○事務局（二宮町政策部企画財政課 5 名）

秋澤部長 椎野課長 宮嶋副主幹 生井主任主事 高橋主任主事

○傍聴者：1 名

4. 議 題

（1）第 2 次にのみや男女共同参画プラン（素案）への意見聴取結果について

【説明】

- ・ 前回会議資料 4 のプラン素案（施策の内容）について、いただいた意見（参考 1）を事務局で精査し、施策毎に成果指標や活動指標までを取り纏めたので、ご意見をいただきたい。
- ・ 当会議後に庁内連絡会議で諮り、最終的には年明けの第 3 回会議で修正案の確認をしてプランを決定していく。

【主な意見】※ 委員意見○ 事務局意見☞

- I 「意識の高揚による推進」の段階として、男女共同参画の取組みが町民に十分知られていない。町民アンケート調査の結果では、町の取組みを「知っている」で 5 %、「聞いたことはある」で 20. 3 %という回答で、まずは 7 割強の町民に知られていない実情を検討していかねばならない。
- 全体的に目標値設定が高く、現実的に達成できるか心配である。もう少し焦点化した目標値を決めて確実に達成できるようにした方がいいと思う。県等でもプランの改正の動きがあるが、目標値の設定は高いのか。
- ☞ かなり高めの設定をしている。他市町村でも目標値は高めの設定をする傾向

にある。また、町レベルでここまで活動指標を表記したプランを立てている市町村も少ない。骨子の段階から成果を数値で表すように進めてきたが、数値で表せないものについては個別の指標ではなく施策全体の「目指す姿」という表現で示したので、その点で数値化すべきかご意見をいただきたい。

○10年分の目標値100%を示すよりも、5年毎に20%、50%と段階を踏んだ方がわかりやすいと思う。これまでの活動を振り返ることができるように5年の中間目標値を設定してはどうか。5年を1つの区切りとして、現状値の2倍、1.5倍を中間目標値として示せばプランが進行し易くなる。

○活動指標は担当部署が明記されないと一般町民の目線からはわかりづらい。

☛活動指標の1つひとつに担当部署を明記する。

○施策④のDV相談について、悩んでいても何処に相談をして良いかわからない人もいる。相談窓口の周知が足りないと相談件数は増え難いと思う。町の相談体制はどうなっているか。

☛担当部署で相談窓口を設け、職員が対応して各課や警察等と連携をとって対応している。DV相談は増えているため、相談対応のできる職員を育成するためにも研修に参加できる職場の環境づくりをする必要がある。

○相談の漏洩を恐れて相談しないケースもある。保健指導で歯の相談を受けていると、あえて町外の相談機関に相談を持ちかける人に出会うことがある。保健師や栄養士等に相談するのではなく、違う職種には話せたりもする。DV被害を受けている母集団を把握することは難しい。

○相談の漏洩や住んでいる地域で相談しづらいことを考えると、広域連携で相談体制の充実を図る必要がある。また、相談の漏洩は相談を受ける職員の資質向上にも関わる。

○施策④の成果指標について、現状値が「被害を受けた人のうち、被害の相談をした割合」ではわかりづらいし、母体数が明確でない。あらゆる暴力の根絶に向けた啓発が成されているかを示すものでなければならない。

○成果指標に対して、数値を入れ込むこと自体が馴染まないのではないか。現状値・目標値を入れなくて、成果指標は「目指す姿」として、文言だけで統一して表現したらどうか。

○施策④のDV相談件数は活動指標にならないので、削除した方がよい。

☛削除する。

○各施策の全体内容として、施策の内容が活動指標に反映されない部分があり、気になる。

○施策③の成果指標で、ワーク・ライフ・バランスの達成率の目標値を 100% にしているが、難しいと思う。

○ワーク・ライフ・バランスの周知率のように表現にした方がわかり易い。

☛他市町村のプランでは、「ワーク・ライフ・バランスという言葉を知っているか」という成果指標を掲げているので、そのような表現に修正する。

○施策④の活動指標の「通学路や公園等における防犯・安全対策の強化、安全安心のまちづくりパトロールの実施回数」は、施策⑦の地域活動に含めた方が現実的だと思う。

☛施策⑦にも追加する。

○施策④の活動指標の中に若年層に対するインターネット等によるメディアの有害情報の予防啓発を追加した方がよいと思う。プランの中に位置づけることによって、学校等への啓発がしやすくなるので。

☛検討する。

○施策⑤の活動指標の「女性人材ファイルの収集」について、「人材ファイルの収集」とすると分かりづらいので、登用率 30%に向けた審議会等に推薦する「女性の人材情報の収集」とした方がよい。

○施策⑥の成果指標の男女の家事平均時間については、町民アンケート調査による数値はないので、数値化せずに「有業者における平等な家事・育児の促進」のような内容に修正した方がいい。

○施策⑥の施策の内容について、「時間外延長保育、一時保育、放課後学童保育等の一層の保育サービス等の拡充 ～ 子育て相談・指導体制の充実を図っていきます。」についての活動指標を示した方がいい。

☛施策⑩にも関係する内容であり、施策⑩の活動指標に示しているので、施策⑥では削除する。

○地域活動に深く関わっている「安全安心のまちづくりパトロールの実施」と「青少年環境浄化活動」については、施策④と施策⑦の両方の活動指標に示した方がいい。

○施策⑦の活動指標の「災害時要援護者支援体制のある地区」については、災害時に備えて早期に取り組むべきものであるため、目標値を全 20 地区とするべきだ。

☛修正する。

○施策⑦の活動指標の「応急手当普及講習会」への参加者の現状値は、地区で開催した講習会も含めてカウントすると目標値が変わるので、現状を把握し

て目標値を設定した方がいい。

☛ 消防署と防災安全課に確認して、数値を修正する。

○ 地区の活動の実情からは、まだまだ男性の方が防災活動に従事していることが多いが、仕事を持って働く女性も増えているため、女性の防災活動を頼りにする時代でもなくなってきている。男女平等のスタイルで考えていかなければならない。

○ 各地区の防災指導員は消防分団OBで構成されるため、女性の防災指導員がいない。それ故に、各地区均等に配備するものとして、女性防災隊員を各地区に確実に配置させる必要性は高い。

○ 女性防災隊員の目標値を示さなくても、「隊員数の増加の促進」というように活動指標にするのも良い。

○ 施策⑦の「地区長連絡協議会や小中学校PTAにおける女性会長の割合」は地区実情や指名委員会の問題も絡むので、活動目標とするのは難しいと思う。

○ 女性はある意味で一步引いて行動する部分が依然として残っていて、それを改善していくための教育に取り組まなければ、「男性にやらせれば無難だ。」とか「副だったらいいわ。」という最後の逃げやずるさを解消していくことはできない。女性教育を同時に進めていく必要がある。

☛ 施策⑨のチャレンジやキャリアアップのための支援へと繋がるものである。

○ Iの「意識の高揚による推進」の啓発に力を入れて取組めば、目標値を入れなくても良いのではないか。

○ 女性も男性も意識改革をしていきながら、II「参画の促進による推進」として、PTAや地区長組織等への参画へとステップアップしていくことが重要になってくると思う。

○ 指名委員会の問題もあると思うが、学校としても女性会長の擁立を意識的に考えていただく必要がある。

○ 啓発していけば目標値に到達するという意味で、この活動数値を示していいたいと思う。

○ 町の外郭団体と同じ考え方をすれば、企業に対して内部にまで介入すべきではないが、それでも企業に対して啓発をして柔軟に対応している。同様に、PTAや地区長に対しても啓発を継続していくことが重要だと思う。施策⑦だとII「参画の促進による推進」で強く推し進めなければならないので、I「意識の高揚による推進」の中で啓発していく方が良いのではないかと思う。

☛ 女性PTA会長や女性地区長の登用割合については、今後の課題とする。

○施策⑧の活動指標の農家における家族経営協定とは、福利厚生的な約束事を取り交わすものであるが、活動指標は農家台帳に記載されている兼業農家を含めた農家の中で、家族経営協定を締結している農家の割合とした方がよい。

☛検討する。

○施策⑨について、女性も男性もチャレンジやキャリアアップを図っていくため、活動指標の再就職応援セミナーは「産後」を削除した方がよい。また、ハローワークとは違うので、「就職支援情報」ではなく「就労・起業支援情報」とした方がよい。

☛修正する。

○施策⑩の活動指標は社会福祉協議会の「地域包括支援センターにおける包括的支援事業の推進と充実」とは別枠に設けた方が分かりやすいので、町が行う「障がい者の介護等支援サービスの推進と充実」は「高齢者及び障がい児者の介護等支援サービスの推進と充実」にした方が全てを含めることができる。

☛担当課に確認して修正する。

○施策⑩の施策の内容の中で「子育てや介護等に不安を持つ親や介助者」は、「子育てに不安を持つ親」と「介護等に不安を持つ介助者」と分けて表した方が分かりやすい。

☛修正する。

○「障害者」は相手に不可解を与えることになるので、「障がい者」に統一修正すべきだ。

☛修正する。

○様々な団体に対して男女共同参画の視点に立った活動の呼びかけをして、団体相互の連携強化と育成支援といった風通しを良くしていくことが必要になる。また、先進的な活動団体とネットワークを組むことで、町にないノウハウを町民に提供することができるようになる。社会資源の1つとして活用する価値があり、それが現実的な活動指標になると思う。是非ネットワーク化について追加修正をしていただきたい。

☛検討する。

○施策⑩で高齢者への活動指標が不十分である。高齢者への対応として、高齢者自身も意欲を持って生活するためにあらゆる場を提供する必要がある。また、引きこもりがちな高齢者への支援サービスの提供を活動指標として検討していく必要がある。

☛ 高齢保険福祉計画等の他のプランとの絡みもあるため、男女共同参画として全て網羅することは難しい。施策⑦の課題の中で、「さらに、高齢化社会をより豊かで活力のあるものにしていくため～生きがいのある生活が送れるような支援を図る必要があります。」の部分で要援護前段の高齢者への課題に触れている。

○ 生きがい事業団への加入促進、ふれあい農園の利用促進、学校等における高齢者を指導者とした民芸学習教室といった活動が、高齢者の男女共同参画の視点に立った活動の推進につながる。

☛ 本日検討した意見を庁内会議に諮って協議していく。

(2) その他

○ 来年3月2日(土)に「にのみや男女共同参画推進の会」が企画したイベントを開催する。「吾妻山に春が来た！」と題して、第1部を「二宮の落語：海坊主等」、第2部を「世界の国々から、いろいろなお話を聞こう」の2部構成で行う。町、教育委員会、かながわ女性センター、テレビ神奈川からは後援を、平塚市のビーンズネットから協賛をいただいている。推進連絡会として是非ご協力いただき、当日の参加をお願いしたい。また、イベントの周知については地区や学校関係も含めてポスター掲示やチラシの配布を予定しているので、ご協力いただきたい。

☛ 来年1月26日(土)に町教育委員会生涯学習課が主催の「二宮町男女共同参画講演会」を生涯学習センターで開催するので、参加をお願いしたい。

5. 決定事項

● 平成24年度 第2回 男女共同参画プラン推進連絡会の公開の決定。